

ミニギャラリー

今月の題字



熊野第四小学校 5年 矢野 絢女 さん



熊野第四小学校 1年 近藤 望愛 さん

【評】「がんばるぞう」というお話を聞いて描いた作品です。仲間のために、ピエロになってがんばったゾウの様子を想像し、ごちそうをもらって帰る嬉しい気持ちでカラフルな色で表現しています。

熊野第四小学校 3年 廣田 桃羽 さん



三年 廣田 桃羽

【評】筆づかいが難しい平仮名の作品ですが、穂先の軟らかさをしっかりと生かしたのびのびとした作品に仕上がっています。「っ」から「り」へ向けての文字のつながりも感じられます。

熊野の自然 (375)
シロマダラ (ヘビ科)



今年10月21日の観察会の時、萩原の路上で車に轢かれた小さな蛇が死んでいました。それが写真のシロマダラです。全長27cmでした。「安芸熊野の自然誌」や平成24年発行の県のレッドデータブックなどにも熊野の記録はなく、町内で最初の記録ではないかと思えます。本州、四国、九州などに分布する、日本の固有種です。以前はかなり珍しい蛇と思われていました。夜行性で、昼間は岩の隙間や物の下に隠れているため見づかりにくいのです。県では、生息状況が不明で情報収集が必要であるとして、「要注

意種」に選定されています。車に轢かれた死体で見つかることが多く、そうした蛇にも注目が必要です。背面の地色は、白っぽいものから茶褐色のものまであり、背面の黒斑

は60ほどあります。腹面はほぼ白色です。全長30〜70cm。細くて小柄な蛇です。幼蛇は全長22cmほどです。主に爬虫類のトカゲやカナヘビを食べます。11月頃から冬眠。春に交尾し、初夏〜夏に産卵のようですが、詳しいことは不明です。とても攻撃性が強いそうです。県内に分布する蛇は8種。町内では、タカチホヘビが未確認です。殆ど地中で生活するため発見が非常に少なく、県では「準絶滅危惧」に選定。全長20〜60cm。背に1本の黒い筋があります。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー
●北谷翠峰と
七人の書作展

時12月7日(月)〜12月19日(土)
毎年正月基町クレドにてウルトラ書道パフォーマンスで活躍の北谷翠峰先生(栗原桜水・田原春汐)ら七人の仲間たちによる書作品を展示します。ご来場お待ちしております。



「陽」北谷翠峰作

熊野町観光案内所「筆の駅」
熊野町出来庭10・6・24
問85・1123(いいふみ)
開10時〜16時
(各展示の最終日は15時閉場)
休水曜日・第3日曜日
年末年始12月27日(日)〜1月6日(水)
※無料
※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。



分かりやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。

